

毎年
4/2～4/8は
発達障害啓発週間
です！

発達障害啓発週間

2007年国連において、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー（WAAD）」とすることが定められたのを機に、わが国では4月2日からの1週間を「発達障害啓発週間」と定め、広く発達障害についての理解と支援をよびかける活動を進めています。



発達障害啓発イベント 2021 JDDnet大阪企画

多様な働き方への挑戦

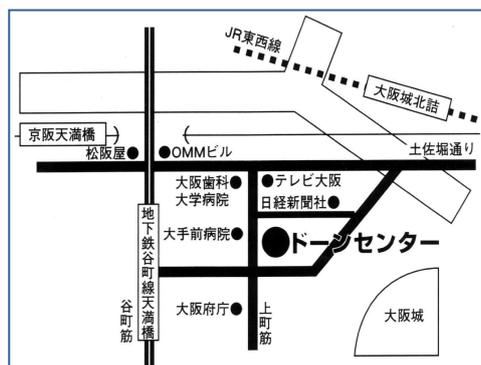
～テレワークの可能性～

日時：4月4日（日）13:30～16:15（13:15受付開始）

会場：ドーンセンター 4F 大会議室1
（大阪府立男女共同参画・青少年センター）

新型コロナウイルス感染拡大防止のための施設利用ガイドラインに沿って実施します。

<https://www.dawncenter.jp/thema/info07.pdf>



参加費：一般 1000円
（JDDnet会員は、500円）

定員：40名（申し込み先着順）

申込先：メール: JDDnet-osaka@oasc.jp FAX: 06-4862-4158

（詳しくは、裏面をご覧ください。）

プログラム

- 13:30 開会 あいさつ
- 13:40 「障害者雇用の現状～発達障害のある人を中心に～」
真銅 申一 氏（厚生労働省大阪労働局 職業安定部職業対策課
地方障害者雇用担当官）
- 14:50 休憩
- 15:00 「コロナ禍における企業の取組 ～テレワークの活用～」
奥脇 学 氏（有限会社 奥進システム 代表取締役）
- 16:00 質疑応答
- 16:15 閉会

主催：日本発達障害ネットワーク大阪（JDDnet大阪）

後援：日本発達障害ネットワーク（JDDnet）

今年のテーマは、「多様な働き方への挑戦～テレワークの可能性～」です。新型コロナウイルス感染症の影響や働き方改革の推進によって、さまざまな場面で「働き方」や「仕事内容」に変化が起きています。また、2021年3月から障害者雇用率が2.2%から2.3%に引き上げられました。そのような中、障害者雇用現状はどのようになっているのでしょうか。企業はどのように対応しようとしているのでしょうか。大阪での状況やテレワークの先進的な実践のお話を伺い、今までの枠組みが成立しにくくなっている「withコロナ」の社会での多様な働き方について、みなさんと一緒に考えていきたいと思ひます。

申込方法

申込先 メール：JDDnet-osaka@oasc.jp

FAX：06-4862-4158

- ※ 必要事項（氏名、連絡先、JDDnet所属の団体の会員は所属団体名）を明記の上、メールかFAXにてお申し込みください。
- ※ 参加希望者のお名前はすべて書いて下さい。
- ※ 所属団体名（下記記載の参加団体）がない場合は、一般での受付となります。
- ※ 先着順受付で定員（40名）になり次第締め切ります。
- ※ 申し込まれた方には受付番号を連絡先にお送りさせていただきます。携帯電話からのお申し込みの場合、PCからのメールを受け取れるようにしておいてください。
- ※ 申し込みをされてから1週間以上、受付番号の連絡がご確認できない場合は、早めにお問い合わせください。
- ※ 参加費は、当日会場受付にてお支払いください。

日本発達障害ネットワーク(JDDnet)は、発達障害関係の全国および地方の障害者団体や親の会、学会・研究会、職能団体などを含めた幅広いネットワークで、我が国における発達障害を代表する全国組織として従来制度の谷間に置かれ支援の対象となっていなかった、あるいは適切な支援を受けられなかった、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害等の発達障害のある人および家族の権利と利益の擁護者として、理解啓発・調査研究・政策提言等を行い、発達障害のある人の自立と社会参加の推進に向けて活動を行っています。



JDDnet 大阪は、下記団体が参加して、大阪でのJDDnet エリア活動を進めています。

日本発達障害ネットワーク大阪(JDDnet大阪) 参加団体

大阪府臨床心理士会 大阪府作業療法士会 日本感覚統合学会 日本LD学会
S.E.N.Sの会大阪支部会 大阪自閉スペクトラム症協会
大阪LD親の会「おたふく会」 大阪LD・軽度発達障害親の会「翼」
アルクラブ（大阪アスペの会）
自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会 オアシス
＜オブザーバー＞ 大阪府発達障がい者支援センター
大阪市発達障がい者支援センター
堺市発達障害者支援センター